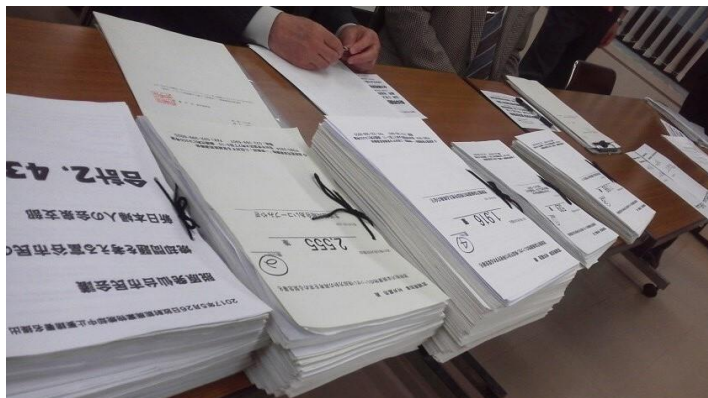
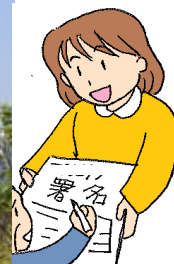


放射能汚染廃棄物「一斉焼却」に反対する宮城県民連絡会 みなさまから寄せられた署名 1万809筆を 提出し、県と意見交換(5月26日)



→ 署名を手渡す
あいこブ高橋理事長
「循環型社会推進課」の
方とあいさつする課長↓
署名 ←



放射能汚染ゴミのいっせい焼却はやめてほしい! 県内各地からの署名 10809筆を手渡しました。

◆村井知事が昨年11月に市町村長会議で、「8000ベクレル/kg以下の放射能汚染廃棄物を全県いっせい焼却したい」と提起して以来、「放射能汚染をさらに広げるな!」「子どもたちを放射能から守ろう!」と、県内各地でさまざまな運動が広がっています。12月に開催した市町村長会議では、反対意見が出て一致できませんでしたが、村井知事は「5月の市町村長会議で再検討する」と、あきらめていません。

◆「一斉焼却反対県民連絡会」を結成(4月2日)して「放射能汚染をこれ以上拡散しないでほしい」「いっせい焼却はしないで!」と願う住民の思いを届け実現するため、各地の運動をつなげて、県や各自治体に要求して行こう、と「放射能汚染廃棄物『一斉焼却』に反対する宮城県連絡会」を結成しました。引き続き、県内各市・町に要請し署名運動にとり組み、結成集会で確認した決議文と知事あての12項目の質問状を4月12日に県に提出し、回答を求めてきました。

◆回答説明と意見交換会(5月26日)では
意見交換会とした会場には、県内各地から90名が参加。用意された回答書も不足し、熱気がこもっていました。

村井知事名による回答書の主な点(課長補佐が説明)

- * 放射性セシウムの安全対策基準について→排ガス・放流水の基準値は放射能汚染対処特別措置法による。たとえ毎日ガスや水を摂取しても被ばく許容線量1mSvを超えることはなく、安全。
- * バグフィルター99.99%捕捉の根拠は? →福島などの焼却施設での除去率は99.99%以上と環境省が確認しており、基準値を超える検出は過去になかった。
- * 健康被害のおそれがあることをなぜ選択するのか? →8000 Bq/kg以下の廃棄物処理の安全性については、通常の処理方法で安全に処理できると確認している。焼却処理によりセシウムが環境中に拡散し、住民が健康被害をうけるおそれがあるとは考えていない。
- * 住民の合意形成こそ大事では? →今後は市町村長会議の議論を経て、最終的には各市町村長により処理・処分方法が判断される。実施が決まれば、具体的説明を行うなど住民の理解を得る努力を重ねていく。など、12項目についての回答説明がされました。

しかし、参加者が納得できる回答は得られませんでした。「県民が抱く不安を解消するために、国が示す特措法頼りの回答ではなく、県として独自の調査や検討を進めてほしい」「内部被ばくこそ問題だ」「放射能汚染防止法の制定を!」など質問・意見が続き、予定時間を30分以上超えました。「多くの署名と意見をいただき、県民の不安・懸念を払しょくするため今後も考えていきたい」と課長が述べて、終わりました。

「女性ネットみやぎ」街頭宣伝署名行動

お誘い合わせてご参加ください。

6月9日(金)7月27日(木) 12~13時 於・一番町フォーラス前
女川原発再稼働STOPを求める知事への要請署名ととりくみの宣伝です。

低線量被ばくによる健康被害

と き **6月17日(土)** 午後1時半～4時

入場無料 / 事前申込不要 / 受付開始: 午後1時(180名で受付終了します)

と ころ **せんだいメディアテーク 7F**

駐車場有り 仙台市青葉区春日町2-1 022-713-3171



講師 **さきやまひさこ** **崎山比早子先生**

1965年千葉大学医学部卒、74年同大学院医学研究科修了。マサチューセッツ工科大学研究員、放射線医学総合研究所主任研究官を経て、99年から高木学校のメンバーとなる。元国会東京電力福島原子力発電所事故調査委員会委員、著書に「母と子のための被ばく知識—原発事故から食品汚染まで」(新水社)、『レントゲン、CT検査、医療被ばくのリスク』(共著、ちくま文庫)など。

宮城県の村井知事は、8000ベクレル/kg以下の放射能汚染廃棄物を焼却・すきこみ・堆肥化処理しようとしています。処理しても放射能は消えることはなく、環境に拡散するばかりです。現在宮城県には月間1ベクレル/m²の放射性セシウムが降り注いでいますが、放射能汚染廃棄物の上記処理方法によって、放射性セシウムの拡散量はますます増え、低線量被ばくの危険性が高まります。この問題を考えるために、放射線医学の専門家であり、国会事故調の委員も務められた崎山比早子先生を仙台にお招きし、「低線量被ばくによる健康被害」と題して、学習講演会を開催することにしました。崎山先生のお話から学び、共に考えましょう。

主催 **NPOきらきら発電・市民共同発電所**

主催 **NPOきらきら発電・市民共同発電所**
生活協同組合あいコープみやぎ
日本キリスト教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ

後援 **放射能汚染廃棄物「一斉焼却」に反対する宮城県民連絡会**

《連絡先》仙台市泉区北中山3丁目17-12、きらきら発電、電話 022-379-3777(F.A.X.兼用)



一回目上映 10:30~12:10
河合弘之監督講演 12:20~13:10
二回目上映 13:20~15:00
参加費 一般999円(前売り800円)
学生500円・小学生無料
前売券の申し込みは TEL/fax 022-215-3120
090-2983-6435

6月3日(日)10時~13時半~上映2回
子どもたちを放射能汚染から守り、原発から自然エネルギーへの転換を
3日(日)10時~13時半~上映2回
講演:12時25分~仙台市福祉プラザふれあいホール
前売り:800円 当日:999円

宮城県の村井知事は、8000ベクレル/kg以下の放射能汚染廃棄物を焼却・すきこみ・堆肥化処理しようとしています。処理しても放射能は消えることはなく、環境に拡散するばかりです。現在宮城県には月間1ベクレル/m²の放射性セシウムが降り注いでいますが、放射能汚染廃棄物の上記処理方法によって、放射性セシウムの拡散量はますます増え、低線量被ばくの危険性が高まります。この問題を考えるために、放射線医学の専門家であり、国会事故調の委員も務められた崎山比早子先生を仙台にお招きし、「低線量被ばくによる健康被害」と題して、学習講演会を開催することにしました。崎山先生のお話から学び、共に考えましょう。

主催 **NPOきらきら発電・市民共同発電所**
生活協同組合あいコープみやぎ
日本キリスト教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ
後援 **放射能汚染廃棄物「一斉焼却」に反対する宮城県民連絡会**

女性ネットみやぎ結成5周年企画

可合弘之弁護士の講演 と、
最新作「日本と再生 光と風のギガワット作戦」上映

「子どもたちを放射能汚染から守り、原発から自然エネルギーへの転換を
ぎす女性ネットワークみやぎ」が結成されて、ちょうど5年になります。
原発事故による放射能被ばくによる健康被害は、福島で甲状腺がん
と、いの子ども(当時5才~18才)の検査で、さらに増えています。
検査で経過観察とされた後、別の医療機関でがんが見つかった患者につ
いては把握困難として報告されていません。宮城県丸森町でも甲状腺がん
が確定して手術された方もおり、北茨木市にも3人いました。

福島原発事故によって放出された放射能汚染廃棄物の処分や管理につ
いては、いまだに方向が定まらず、住民の思いはなかなか届きません。原
発がなくても生活できることは、この6年余の経験で実感してきました。

日本でも、さまざまな自然エネルギーの発電を進めることにより、原発では
ないエネルギーを活用して地域も経済も再生できると確信した河合弁護士
たちが、世界7ヶ国を回り、自然エネルギー活用の実情を見て聴いて取材
したドキュメント映画「日本と再生」の上映です。「原発のない社会は実現
できる」「みなさんに知らせたい」と、熱く語る河合弁護士の講演にも期待が
広がっています。チラシ・チケットの普及にもご協力ください。

女川原発再稼働STOP! いっせい焼却反対! さらに強く大きな声をあげて行こう! 原発・放射能・子ども・平和関連の企画など、各地・各団体のとりくみ

◆脱原発デモ・金曜デモなど

- * 旧古川地域: 大崎 demo 金曜デモ・毎週金曜 17時半・あさひ中央公園集合後デモ
- * 塩釜地域: 塩釜さん発電デモ・金曜 17時半集合・下馬駅裏宮城民医連事業協前 17時45分デモ出発
- * 岩沼市: 「原発ゼロ戦争させない岩沼歩き隊」毎月第3金曜日 14時岩沼駅東口広場で集会後デモ
- * 仙台長町地域: 第3水曜0時半~原発も戦争もNO! たいはくアクション: 仙台長町・蛸薬師境内集会後デモ
- * 仙台中部部: 脱原発みやぎ金曜デモ(女川原発再稼働するな! 子供を守れ! 汚染はいらない! みやぎ金曜デモ)
6/2(金) 肴町公園・毎週金曜 18:30集合、19:00デモ出発(会場は変わることがあります)



- ◆6月5日(月)15日(木)12時~13時「女の平和」ピースアクション 於・フォーラス前
- ◆6月6日(火)10時半 女川原発再稼働反対署名を仙台市に提出 10時15分市民の部屋で打合せ 脱原発仙台市民会議
- ◆6月7日(水)18時~20時半 宮城県政の検証と意見交流会(医療・地域経済・石炭火力発電・女川原発・県政黒書など話題提供と意見交換)
於・戦災復興記念館5F 主催・明るい民主県政をつくる県民の会(明るい会)
- ◆6月9日(金) 12時~13時 女川原発再稼働STOP女性ネットみやぎ街頭宣伝署名行動 於・フォーラス前
- ◆6月10日(土)14時半~17時半 放射能汚染防止法制定勉強会in宮城・栗原 14時~講演・山本行雄弁護士 於・栗原文化会館
資料代500円 主催・放射能から子どもたちを守る栗原ネットワーク
- ◆6月11日(日)13時半~16時半 『放射能汚染防止法』って何だろう 講義・山本行雄弁護士 於・仙台シルバーセンター
主催・『放射能汚染防止法』制定を考える仙台有志の会
- ◆6月17日(土)13時半~講演「低線量被ばくによる健康被害」共催/きらきら発電・あいコープ 後援/いっせい焼却反対県民連絡会
講師・崎山比早子さん(元放射線医学総合研究所主任研究官・高木学校所属)於・せんだいメディアテーク・無料